

2020年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	2,562 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	217 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	332 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.3 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	144 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	46 数
常勤	1,409 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	54 数
非常勤	1,144 数	6 : それ以外	334 数
		合計	1,127 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	784 数
		いいえ	178 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4,599 数	常勤	3,816 数
② 経験年数		非常勤	738 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	18.1 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	検診数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	2,892,629	115,168	18,066	35,531	3,061,394	128,356	291,384
呼吸器	682,104	29,431	63,095	43,961	818,591	112,567	154,389
消化器	75,164	27,011	25,234	8,092	135,501	47,375	
泌尿器	1,606,765	132,165	41,567	2,189	1,782,686	93,924	
乳腺	77,476	17,899	19,359	21,893	136,627	30,806	
甲状腺	82,966	17,961	11,170	17,146	129,243	11,946	
体腔液	228,636	18,186	45,276	1,139	293,237	82,520	
リンパ節	25,611	6,550	21,734	4,541	58,436	24,732	
その他	89,874	17,186	12,697	6,368	126,125	24,825	
小計	5,761,225	381,557	258,198	140,860	6,541,840	557,051	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
14,391	9,228,933	233,922	37,111	155,368	86,724	13,472	7,508	5,272	472	1,387	9,784,560	240,866	2,483,935

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,580	143	22	44	3,789	159
呼吸器	844	36	78	54	1,013	139
消化器	93	33	31	10	168	59
泌尿器	1,989	164	51	3	2,206	116
乳腺	96	22	24	27	169	38
甲状腺	103	22	14	21	160	15
体腔液	283	23	56	1	363	102
リンパ節	32	8	27	6	72	31
その他	111	21	16	8	156	31
小計	7,130	472	320	174	8,096	689

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
18	11,422	290	46	192	107	17	9	7	1	2	12,110

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者	医師	プログラム
3,172 数	3,155 数	1,701 数
技師参加者	技師	成績(平均)
8,782 数	8,761 数	95.9 %
合計	参加者	
11,954 数	11,916 数	

2020年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	592 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	11 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	42 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	13.8 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	11 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	9 数
常勤	485 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	5 数
非常勤	103 数	6 : それ以外	20 数
		合計	98 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい 50 数	いいえ 13 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	769 数	常勤	706 数
② 経験年数		非常勤	42 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	14.6 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	156,423	16,133	4,458	4,146	181,160	25,952	6,581
呼吸器	47,569	6,158	14,317	3,860	71,904	24,832	10,235
消化器	19,436	7,476	6,812	2,926	36,650	13,884	
泌尿器	145,214	19,328	7,033	211	171,786	20,897	
乳腺	4,953	1,647	2,499	1,929	11,028	4,862	
甲状腺	12,290	3,419	2,673	3,933	22,315	3,188	
体腔液	61,264	4,679	10,696	290	76,929	25,605	
リンパ節	7,035	2,017	6,188	1,352	16,592	7,174	
その他	25,938	5,720	3,981	1,690	37,329	9,856	
小計	480,122	66,577	58,657	20,337	625,693	136,250	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
1,103	291,780	13,670	4,550	11,072	12,700	2,249	1,886	1,438	80	379	341,537	32,592	34,072

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,448	149	41	38	1,677	240
呼吸器	440	57	133	36	666	230
消化器	180	69	63	27	339	129
泌尿器	1,345	179	65	2	1,591	193
乳腺	46	15	23	18	102	45
甲状腺	114	32	25	36	207	30
体腔液	567	43	99	3	712	237
リンパ節	65	19	57	13	154	66
その他	240	53	37	16	346	91
小計	4,446	616	543	188	5,793	1,262

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
10	2,702	127	42	103	118	21	17	13	1	4	3,162

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	829 数	医師	829 数	プログラム	217 数
技師参加者	1,613 数	技師	1,610 数	成績(平均)	96.9 %
合計	2,442 数	参加者	2,439 数		

2020年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,392 数	1:定期的に週2回以上勤務	71 数
② 経験年数		2:毎週1回勤務:3時間以上	237 数
経験年数合計/細胞診専門医数(平均)	19.9 年	3:毎週1回勤務:1時間~3時間未満	33 数
③ 常勤か非常勤		4:2週間に1回勤務:3時間以上	29 数
常勤	861 数	5:2週間に1回勤務:1時間~3時間未満	23 数
非常勤	525 数	6:それ以外	121 数
		合計	514 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	396 数
		いいえ	54 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,485 数	常勤	2,312 数
② 経験年数		非常勤	154 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	15.7 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	579,216	35,931	9,379	15,092	639,618	62,952	134,962
呼吸器	145,421	15,409	43,657	12,311	216,798	77,277	30,510
消化器	40,673	16,074	16,965	4,511	78,223	31,550	
泌尿器	484,908	58,787	24,158	1,215	569,068	61,601	
乳腺	27,677	6,375	9,705	7,861	51,618	19,714	
甲状腺	46,327	9,720	6,129	9,863	72,039	7,568	
体腔液	133,517	9,895	28,266	607	172,285	53,291	
リンパ節	15,578	3,930	13,581	2,710	35,799	16,632	
その他	46,205	6,723	7,224	3,457	63,609	13,741	
小計	1,519,522	162,844	159,064	57,627	1,899,057	344,326	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
6,388	1,484,183	56,129	12,508	38,704	30,077	5,019	3,270	2,433	187	839	1,639,737	117,654	484,953

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,016	63	16	26	1,122	110
呼吸器	255	27	77	22	380	136
消化器	71	28	30	8	137	55
泌尿器	851	103	42	2	998	108
乳腺	49	11	17	14	91	35
甲状腺	81	17	11	17	126	13
体腔液	234	17	50	1	302	93
リンパ節	27	7	24	5	63	29
その他	81	12	13	6	112	24
小計	2,666	286	279	101	3,332	604

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
8	2,604	98	22	68	53	9	6	4	0	1	2,877

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 1,763 数	医師 1,758 数	プログラム 1,212 数
技師参加者 4,866 数	技師 4,855 数	成績(平均) 95.9 %
合計 6,629 数	参加者 6,613 数	

2020年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	6 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	1 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	1 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	12.7 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	数
常勤	4 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	数
非常勤	2 数	6 : それ以外	数
		合計	2 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	数
		いいえ	2 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	9 数	常勤	8 数
② 経験年数		非常勤	1 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	22.2 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判別別件数

施設総合計	判別別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	934	28	15	2	979	57	2
呼吸器	0	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0	
泌尿器	15	1	1	0	17	0	
乳腺	23	12	10	8	53	28	
甲状腺	4,974	778	894	122	6,768	551	
体腔液	3	0	0	0	3	2	
リンパ節	151	53	255	48	507	65	
その他	0	2	2	4	8	0	
小計	6,100	874	1,177	184	8,335	703	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
3	6,094	101	4	155	103	8	9	5	1	2	6,485	341	308

② 判別別件数・施設数(平均)

施設総合計	判別別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	311	9	5	1	326	19
呼吸器	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0
泌尿器	5	0	0	0	6	0
乳腺	8	4	3	3	18	9
甲状腺	1,658	259	298	41	2,256	184
体腔液	1	0	0	0	1	1
リンパ節	50	18	85	16	169	22
その他	0	1	1	1	3	0
小計	2,033	291	392	61	2,778	234

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1	2,031	34	1	52	34	3	3	2	0	1	2,162

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	21 数	医師	21 数	プログラム	4 数
技師参加者	44 数	技師	44 数	成績(平均)	90.0 %
合計	65 数	参加者	65 数		

2020年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	411 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	123 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	47 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	22.2 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	74 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	6 数
常勤	43 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	15 数
非常勤	368 数	6 : それ以外	103 数
		合計	368 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	229 数
		いいえ	81 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	995 数	常勤	512 数
② 経験年数		非常勤	482 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	24.5 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	検診数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	2,085,914	61,354	3,923	15,013	2,166,204	38,378	125,610
呼吸器	412,917	7,274	4,611	22,113	446,915	10,243	66,224
消化器	14,539	3,380	1,349	646	19,914	1,736	
泌尿器	964,308	53,592	10,191	748	1,028,839	11,380	
乳腺	43,994	9,712	6,945	11,856	72,507	6,074	
甲状腺	17,230	3,883	1,349	3,111	25,573	598	
体腔液	33,121	3,565	6,157	240	43,083	3,580	
リンパ節	2,761	534	1,661	405	5,361	857	
その他	17,396	4,673	1,453	1,196	24,718	1,223	
小計	3,592,180	147,967	37,639	55,328	3,833,114	74,069	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
5,978	6,128,588	150,268	17,016	95,329	38,742	5,162	2,028	1,194	156	150	6,444,611	76,147	1,019,634

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	24,540	722	46	177	25,485	452
呼吸器	4,858	86	54	260	5,258	121
消化器	171	40	16	8	234	20
泌尿器	11,345	630	120	9	12,104	134
乳腺	518	114	82	139	853	71
甲状腺	203	46	16	37	301	7
体腔液	390	42	72	3	507	42
リンパ節	32	6	20	5	63	10
その他	205	55	17	14	291	14
小計	42,261	1,741	443	651	45,095	871

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
70	72,101	1,768	200	1,122	456	61	24	14	2	2	7,976

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 501 数	医師 500 数	プログラム 193 数
技師参加者 1,723 数	技師 1,720 数	成績(平均) 95.2 %
合計 2,223 数	参加者 2,220 数	

2020年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	108 数
一般病院	570 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	42 数
合計	808 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	161 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	12 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	4 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	26.9 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	26 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	2 数
常勤	16 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	11 数
非常勤	145 数	6 : それ以外	90 数
		合計	145 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	108 数
		いいえ	28 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	341 数	常勤	278 数
② 経験年数		非常勤	59 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	24.7 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	70,142	1,722	291	1,278	73,433	1,017	24,229
呼吸器	76,197	590	510	5,677	82,974	215	47,420
消化器	516	81	108	9	714	205	
泌尿器	12,320	457	184	15	12,976	46	
乳腺	829	153	200	239	1,421	128	
甲状腺	2,145	161	125	117	2,548	41	
体腔液	731	47	157	2	937	42	
リンパ節	86	16	49	26	177	4	
その他	335	68	37	21	461	5	
小計	163,301	3,295	1,661	7,384	175,641	1,703	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
919	1,318,288	13,754	3,033	9,478	5,102	1,034	315	202	48	17	1,352,190	14,132	944,968

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,670	41	7	30	1,748	24
呼吸器	1,814	14	12	135	1,976	5
消化器	12	2	3	0	17	5
泌尿器	293	11	4	0	309	1
乳腺	20	4	5	6	34	3
甲状腺	51	4	3	3	61	1
体腔液	17	1	4	0	22	1
リンパ節	2	0	1	1	4	0
その他	8	2	1	1	11	0
小計	3,888	78	40	176	4,182	41

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1	31,388	327	72	226	121	25	8	5	1	0	32,195

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 143 数	医師 143 数	プログラム 73 数
技師参加者 549 数	技師 549 数	成績(平均) 93.5 %
合計 692 数	参加者 692 数	

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	786	いいえ	18		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	776	いいえ	27		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	729	いいえ	72	「はい」ならば何%くらいですか	35.5 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	753	いいえ	46	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	52.9 % 6.8 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	800	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	29.3 年 64.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	801	いいえ	1		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	795	いいえ	4		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	796	いいえ	3		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	792	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	623	いいえ	175		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	362	いいえ	439	1日の最大検体数	70.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	543	いいえ	256		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	796	いいえ	5		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	788	いいえ	15		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	779	いいえ	17		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	755	いいえ	40		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	785	いいえ	17		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	700	いいえ	103	「いいえ」の場合何%	30.4 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	533	いいえ	268	「はい」の場合 一年何回	53.4 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	473	いいえ	296		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	248	いいえ	530		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	185	いいえ	58		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	107	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	102	いいえ	6		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	102	いいえ	6	「はい」ならば何%くらいですか	56.6 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	104	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率	58.8 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	3.6 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	107	いいえ	0	標本の保管年数	40.2 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	107	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	107	いいえ	1		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	108	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	105	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	80	いいえ	27		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	33	いいえ	74	1日の最大検体数	62.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	64	いいえ	44		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	107	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	106	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	102	いいえ	5		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	106	いいえ	2		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	102	いいえ	6		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	100	いいえ	8	「いいえ」の場合何%	49.8 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	82	いいえ		「はい」の場合 一年何回	60.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	72	いいえ	32		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	33	いいえ	72		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	28	いいえ	64		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	556	いいえ	11		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	549	いいえ	17		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	519	いいえ	45	「はい」ならば何%くらいですか	36.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	527	いいえ	36	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	57.4 % 6.3 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	565	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	32.3 年 71.6 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	565	いいえ	1		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	559	いいえ	3		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	562	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	558	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	421	いいえ	142		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	219	いいえ	348	1日の最大検体数	62.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	366	いいえ	197		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	562	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	555	いいえ	11		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さを点検していますか？	はい	550	いいえ	12		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	521	いいえ	38		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	555	いいえ	10		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	496	いいえ	71	「いいえ」の場合何%	28.2 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	340	いいえ	224	「はい」の場合 一年何回	61.4 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	293	いいえ	246		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	151	いいえ	398		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	126	いいえ	337		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	40.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	2	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	60.0 % %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	3	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	9.3 年 43.0 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	2	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	2	いいえ	1	1日の最大検体数	55.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	0		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	2	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	2	いいえ	1	「いいえ」の場合何%	100.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合 一年何回	14.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	2	いいえ	1		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	1	いいえ	2		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	0	いいえ	3		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	79	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	81	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	75	いいえ	9	「はい」ならば何%くらいですか	8.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	81	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率	22.7 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	5.3 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	84	いいえ	0	標本の保管年数	9.0 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	84	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	84	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	82	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	84	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	82	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	74	いいえ	8	1日の最大検体数	82.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	73	いいえ	11		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	83	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	84	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	82	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	84	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	84	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	67	いいえ	17	「いいえ」の場合何%	25.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	75	いいえ	9	「はい」の場合 一年何回	24.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	74	いいえ	8		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	41	いいえ	38		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	40	いいえ	33		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	40	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	40	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	29	いいえ	12	「はい」ならば何%くらいですか	42.2 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	38	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	39.2 % 3.3 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	40	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	5.9 年 10.2 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	41	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	41	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	41	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	41	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	36	いいえ	4		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	33	いいえ	8	1日の最大検体数	93.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	37	いいえ	3		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	40	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	39	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	41	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	40	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	41	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	35	いいえ	5	「いいえ」の場合何%	10.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	32	いいえ		「はい」の場合 一年何回	24.6 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	31	いいえ	9		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	21	いいえ	20		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	21	いいえ	15		